

# 山本悟史

さとし



県政レポート

2011年夏号

がんばろう NIPPON

## 県議選、初当選！

こんにちは。山本悟史です。4月の県議選は、与党への逆風、市議からの転身、さらに自粛ムードの中でのたたかいとなりましたが、何とか最下位で当選することができました。これは「ここからおまえばやっていけ！」というみなさまからの声だと思ひ、しつかりと活動してまいります。

そして、私が選挙で訴えたのが被災地支援と香川の防災・減災対策。被災地を訪れて聞いた声、そして地元香川の声を聞きながらしかるべき対策を進めてまいります！

## そして、福島へ！！

連休も明けた5月中旬、私はまず民主党福島県連を訪れ、津波や原発被害の状況・対応を聞き、次に仙台経由で宮城県の大川町災害ボランティアセンターでセンター長さんからお話を伺いました。そして、観音寺から一人で義援金と物資を運んできた五味市議と合流し、福島県相馬郡新地町を目指しました。

新地町は、五味市議が中学生生活を送った町で、位置的には福島県東部のいわゆる浜通りの最北端にあり、農業や漁業に加え、広大な工業団地や火力発電所も抱える文字どおりの豊かな町、でした。3月11日のあの時、までは…。

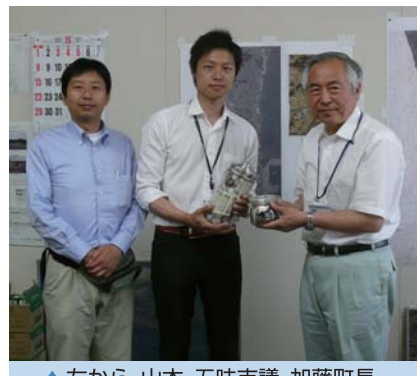


▲5/17 壊滅状態のJR新地駅周辺を歩く山本。(海岸から約500mの位置。)



▲4/10深夜の当確。

町長さんから当時の様子を聞き、義援金を手渡した後、私たちは被災した海岸付近に向かいました。辺り一面の瓦礫。破壊された駅。曲がったレール。寸断された道路。そして、無造作に転がり壊れた車。住宅街は跡形もありません。私たちはかつて人々が普通に生活していたであろうその場に佇みながら、大自然の圧倒的な破壊力とそれに比して人間の無力さを痛感していました。



▲左から、山本・五味市議・加藤町長。

## 香川の思いを被災地へ！

翌日は、全国から集まったみなさんといっしょに、一日ボランティア作業。そして、今回の訪問で特に印象に残ったのは、娘さんと避難所暮らしをされていたある女性の話です。その女性は何とか高台にある学校に逃げ込み、助かったのですが、一度家に戻ろうとした人は軒並み津波の犠牲になったそうです。目の前で家族が津波に飲み込まれた人、自らが生き残ったことを悔いて自殺をする高齢者の心のバランスを崩す子どもたち。聞いていて、本当に心が痛む話でした。

しかし、その女性は最後にこう話してくれました。「とにかく生き残った者ががんばっていかなきや

ね。こうやって遠い香川県からも来てくれてるんだから。本当にありがとうね。」と。私たちはそのあとに言葉を続けられず、ただただ涙をこらえるのに必死でした。情けないことですが、支援に行った人間が逆に励まされたようなものです。



▲5/18 ボランティア活動。

## 議会報告

5月2日に開催された臨時会で、総務委員会と総合防災対策特別委員会に所属することが決まりました。また、広報委員会が「対策の推進に関する条例検討委員会」として、健康づくり推進に関する条例検討委員会の各委員にもなりました。



▲6/1 千葉県浦安市を委員会視察。

## 政府へ予算要望



▲7/21 副知事らとともに国交省政務官へ要望。

県内経済活性化に不可欠な高松港へのガントリークレーン設置に向けて、県選出与党国會議員団にも尽力いただいで、県とともに国土交通省に予算要望を行いました。

## もっさん悟録

◆人生2回目の選挙が終わりました。この間、本当に多くの方にお世話になりました。しかしながら、公選法上はお礼が言えません。その分しっかりと働いていくことで、みなさまの期待に応えていく覚悟です。

◆「元々県でおったんなら、市よりやりやすいやろ？」と言われることがあります。しかし、政治家としては市議4年の経験しかありませんから、まだその違いに戸惑うことが少なくありません。早く慣れるように努力しますが、一方で「違和感」も大切にしたいと思っています。

◆この夏は日本中で節電が叫ばれています。それはそれで大事なことです。我慢のしすぎは禁物です。熱中症等にならないためにも、特に子どもや高齢者がいる御家庭は暑いと感じたら、クーラーを使ってください。

◆当選後、東京に行く機会が増えました。上京する度に刺激を受けますが、暮らすのはやっぱり故郷香川が一番だと感じます。これからは、もっともっと香川の良さを全国にアピールしていきたいと思ひます。

◆当選後の「県政レポート」、どんな感想をお持ちいただいたでしょうか。みなさまの声を聞きながらドンドン情報発信していきますので、引き続きの叱咤激励をお願いします！







# 1 被災地支援

## (1) 職員派遣

**山本** できるだけ多くの職員が被災地の現状を実感することは、今後の本県にとっても意味があるのではないかと。また、派遣職員に対するメンタルケア対策はどうなっているのか？

**知事** 派遣された職員は、被災地の現状を直接見聞きし、被災地業務に携わる中で貴重な経験をしており、今後の本県の防災対策の見直しの中で生かしてまいりたいと考えております。今後とも、派遣された職員の心身のケア等にも十分配慮しつつ、被災地の意向を踏まえ、引き続き被災地への職員派遣に取り組んでまいります。

**県警本部長** 事前に派遣部隊員の健康状態を確認するとともに、放射線に関する教養や防護服の着脱訓練・暑さ対策など万全の準備を行うほか、帰県後には、メンタルケアを含めた健康管理医等による面接指導や休暇の取得など勤務面での配慮を行うこととしています。県警察では、引き続き、必要な部隊を派遣していくこととしております。

事前に派遣部隊員の健康状態を確認するとともに、放射線に関する教養や防護服の着脱訓練・暑さ対策など万全の準備を行うほか、帰県後には、メンタルケアを含めた健康管理医等による面接指導や休暇の取得など勤務面での配慮を行うこととしています。県警察では、引き続き、必要な部隊を派遣していくこととしております。



▲香川県警の現地での活動の様子。

## (2) ボランティア参加

**山本** 被災地への支援活動に参加しやすい環境づくりを目指して、ボランティアなどを考えている人向けに適切な情報を提供するマッチングが必要ではないか？

**総務部長** 今後は、県内のNPOや民間企業、市町等が行う支援活動の情報収集を行うとともに、より幅広い災害ボランティア情報へリンクを貼るなど、県のホームページの充実を図り、より一層幅広いニーズに対応してまいります。

## (3) 相互交流の促進

**山本** 本県から被災地への観光ツアーの促進や県内イベントへの招待などを通じて、本県と被災地の相互交流の促進を図るべきではないか？

**観光局長** 被災地の観光情報を県のホームページで紹介するなど、県民に対して積極的に情報発信を行い、被災地への観光ツアーの促進に努めてまいります。次回瀬戸内国際芸術祭への被災地の方々の招待についても検討してまいります。



# 2 防災・減災対策

## (1) 防災関係施策の推進

**山本** 今後の本県の防災関係施策の推進に際しては、特に「減災」という視点が必要ではないか？

**知事** 国の復興構想会議等においても、「減災」の考え方が明確に打ち出されており、今後とも、「減災」の視点で、ハード対策を推進するとともに、防災教育の充実や実践的な防災訓練などのソフト対策に積極的に取り組み、県民の防災意識の向上に努めることで、効果的かつ効率的に防災対策を推進してまいります。



## (2) 新中央病院の整備

**山本** 「新中央病院防災対策検討会議」では、朝日町の他にも候補地を加えた形で比較検討を行うことが、県民に対する説明責任として必要ではないか？



▲5/23 朝日町の工事現場を委員会視察。

## 知事

新中央病院の整備場所の選定に当たっては、他の公的病院との配置バランスに優れていること、敷地面積が広く高度医療を提供するための効率的な施設配置が可能であることなどから、朝日町に移転先を決定し、移転整備を進めてきているところであります。現在の中央

病院については、施設が狭隘化し、一部施設を除いて耐震改修がなされていないことなどから、移転整備が急がれる状況にあると考えております。

## (3) 医師確保対策

**山本** 中央病院の医師確保の現状と、今後の見通しはどうなっているのか？

**病院事業管理者** 中央病院では、「外部からの招へい」「在籍している医師の確保」「若手医師の確保・育成」の3つの方法により医師確保に努めております。これまでの取り組みに加え、新中央病院において、施設・設備や体制の整備など、ハード・ソフト両面にわたり良好な医療環境づくりに努め、魅力ある病院づくりを進めることにより、優秀な医師の確保を図ってまいります。



## 県議選費用報告

(単位:円)

収入	3,630,000	支出	3,753,002
自己資金	1,500,000	人件費	930,000 (無償労働分)
政党寄附	950,000	家屋費	909,425 (選挙事務所費等)
個人寄附	250,000	通信費	117,940 (新聞広告代等)
無償労働	930,000	印刷費	525,100 (うち公費※399,100)
		広告費	897,330
		文具費	28,350
		食料費	271,910 (弁当代)
		雑費	72,947 (光熱費等)



※ポスター代公費負担分399,100円を除く、実質差額276,098円は次回選挙へ積立。

## 山本悟史プロフィール

- 1968年 観音寺市生まれ
- 1992年 立命館大学法学部卒業・県庁入庁
- 県庁時代 … 組織風土改革に力を入れる!
- 2006年 民主党地方選公募合格・県庁退職
- 2007年 高松市議会議員選挙初当選
- 市議時代 … 埋蔵金2億円の返還を実現!!
- 2011年 香川県議会議員選挙初当選

愛称…もっさん  
家族…妻と猫1匹借家暮らし  
性格…基本のんびり時々頑固  
趣味…B級グルメ・まちめぐり  
★映画『県庁の星』にも(一瞬)出演★



## 連絡先

- 県議会(民主党議員会)  
〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10  
Tel:087-832-3675 Fax:087-831-4719  
Email:s-yamamoto@gikai.pref.kagawa.jp  
※土日祝日は原則お休みです。
- 所属政党事務所(民主党香川県連)  
〒761-8072 香川県高松市三条町315-3  
TEL:087-868-0028 FAX:087-868-0109  
※土日祝日は原則お休みです。
- 自宅(後援会)  
〒760-0080 香川県高松市木太町2735-3  
TEL&FAX:087-833-3650  
Email:mossan1968@ybb.ne.jp  
※留守番電話になっているときは、メッセージを入れていただくと助かります。

http://mossan2.com  
mossan.com

twitter  
http://twitter.com/mossan1968

行動力あり! 活動報告ブログ

